

2015年2月6日

報道資料

株式会社UBIC

(東証マザーズコード番号: 2158)

(NASDAQティッカーシンボル: UBIC)

UBIC、世界最大規模のリーガルテクノロジー展示会 「リーガルテックニューヨーク2015」に出展 ～自社開発の人工知能VDSの可能性について講演～

米ナスダックと東証マザーズに上場し、人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がけるUBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）は、2月3日～5日に米国ニューヨークで開催の世界最大規模のリーガルテクノロジー関連展示会「リーガルテックニューヨーク2015（Legal Tech New York 2015）」に参加しました。当社は、日本企業で唯一のeディスカバリ総合支援企業として、自社開発の人工知能「バーチャルデータサイエンティスト（VDS）」を中心に出展および講演を行いました。また、当社ブースに加えて、昨年完全子会社化した米国の老舗eディスカバリ企業であるTechLaw Solutions, Inc.（TLS）のブースでも、人工知能を搭載した当社のデータ解析プラットフォーム「Lit i View®（リット・アイ・ビュー）」を展示することで、米国市場を熟知しているTLSと技術力でリードするUBICの連携による相乗効果を演出しました。



UBIC North America, Inc.展示ブース



TechLaw Solutions, Inc.展示ブース

セッションは、「Behavior Informatics and Next Generation Business Intelligence: Transforming Governance, Litigation and Data Analysis」という共通テーマを掲げて3本行いました。

第一セッション"Pre-Crime is a Reality: Stopping Fraud Before it Happens"では、UBIC North America, Inc.の代表であるStephen K. Hennがディスカッションリーダーとなり、不正行為をフェーズごとに分析し予兆を捉えて早期に不正の芽を摘むことの重要性を指摘し、解決策としてUBICの行動情報科学に基づいた人工知能を提案しまし

た。第二セッション"Using Artificial Intelligence to Manage Big Data for Litigation"では、UBIC North America, Inc.の法律顧問であるPaul Starrettが、増え続ける企業内ビッグデータに対する情報ガバナンスの観点から人工知能を活用した手法を解説した後、活発な議論が行われました。第三セッション"Behavior Informatics in Healthcare: eMedical Records and Data Security"では、当社のアドバイザーであるJohn A. Norris氏がモデレーターとなり、UBICの執行役員・CCTOでクライアント・テクノロジー部部長の白井喜勝が、訴訟支援で培った知見により開発したUBICの人工知能VDSを医療分野に応用する可能性について説明しました。Norris氏は、IT化の進む医療業界において基盤となりつつある医療データのセキュリティ強化は急務であり、人工知能を活用することで外部評価を損なうリスクの軽減や効率的なコスト管理が可能であることを述べ、今後医療業界においても「faster, better, cheaper, and safer」が求められていくと総括しました。



Stephen K. Henn,
Esq.



Paul Starrett, Esq.,
EnCE, CFE



白井喜勝



John A. Norris, JD,
MBA

当社は本展示会で「eディスカバリ業界において過去の知見と最新テクノロジーを組み合わせた効果的なソリューションを引き続き提供していくこと」および「訴訟支援分野で培った独自技術を、医療分野をはじめとした他分野に展開すること」を表明し、引き続き行動情報科学技術を応用した高品質なサービスの提供を通じて社会の発展に貢献してまいります。

■UBIC提供セッションのプログラム詳細

2月2日付UBIC North America, Inc.発表のプレスリリース

(<http://ir.ubicna.com/releasedetail.cfm?ReleaseID=894012>)

または主催者ホームページ (<http://www.legaltechshow.com>) を参照ください。

■Legal Tech New York 2015概要

日時： 2015年2月3日（火）～5日（木） 10:00 - 18:00（米国東部時間）

会場： ニューヨーク・ヒルトン・ミッドタウン

1335 Avenue of the Americas, New York 10019

特色： 最先端のリーガルテクノロジーを搭載した製品を包括的に紹介する展示会で、アメリカの法律事務所や企業法務部、ソリューションベンダーなどが参加。今年で34回目の開催。

来場者数： 約1万3000人（主催者見込み）

ホームページ： <http://www.legaltechshow.com>



【UBIC について】

代表取締役社長：守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル

URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、独自開発の人工知能「バーチャルデータサイエンティスト (VDS)」の活用により、ビッグデータを含む情報解析を支援する行動情報データ解析企業。

2003 年に、国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ (電子証拠開示) 支援や、コンピュータフォレンジック調査サービスを提供する国際訴訟対策支援企業として創業。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View® (リット・アイ・ビュー)」、アジア言語に対応した「Predictive Coding® (プレディクティブ・コーディング)」技術などを駆使して企業の訴訟対策支援を実施。

訴訟対策支援で培った人工知能「VDS」は専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、ビッグデータ解析を実現。近年は、VDS を医療やマーケティングなどの領域に適用して事業を拡大している。

2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 1,673,158 千円 (2014 年 9 月 30 日現在)。

〈本件に関するお問合せ先〉
株式会社 UBIC 広報 神田・勝部
TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345